

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： タッチ IoT：触れるインターネット実現のための肌感覚送受信機の開発

2. 個人研究者名

ホ アンヴァン（北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 准教授）

3. 事後評価結果

画像化した触覚分布情報を高速収集・処理する触覚検知装置と、画像触覚情報の通信符号化方式の確立に挑戦する研究である。サイバー空間における人とシステムとの高度な実時間インタラクションを可能とする次世代 IoT サービスとしての肌感覚送受信方式の確立と実空間での効果検証により、五感情報のリアルタイム流通性能の飛躍的な向上を目指した。

五感情報のリアルタイム流通を実現する要素技術として、広範囲に渡る触覚分布を視覚化可能とする触覚検知方式、触覚情報のリアルタイム収集方式、大容量触覚情報を蓄積・共有・解析可能とする情報モデルと符号化方式の確立に取り組み、当初目標を着実に達成した点は高く評価できる。更には、国際標準化団体 W3C（World Wide Web Consortium）での WoT（Web of Things）における触覚情報流通 API 策定にも取り組み、社会実装に向けた成果展開を推進・加速している点も特筆すべき成果である。

研究成果は国内外で評価され、特に IEEE の著名論文誌 (Trans. on Mechatronics、Trans. on Robotics) への採択と被引用上位 10% の獲得は、世界が認める学術的価値の高い成果であり、ソフトロボティクス分野のトップ研究者としての飛躍に繋がった。国際共同研究の更なる推進や W3C WoT 等の社会実装・標準化の推進等、社会的インパクトの大きい成果展開に向けた更なる研究の発展を期待する。